

稲作情報

(出穂期～登熟期前半の管理)

令和5年度第5号

令和5年8月15日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、
喜多方市、北塩原村、西会津町

これまでの生育状況

県農業総合センター会津地域研究所（会津坂下町見明）の作柄解析試験によると、幼穂形成期は平年並みでした。出穂期も平年並みになると考えられますが、ほ場をこまめに確認し、斑点米カメムシ類の防除適期を逃さないようにしてください。

また、草丈は平年より長く葉色は濃く推移していますので、田面（株元）が軟らかいほ場で倒伏の懸念があります。

品種別幼穂形成期

	ひとめぼれ	天のつぶ	コシヒカリ
本年	7月8日	7月10日	7月13日
前年	7月7日	7月9日	-
平年	7月8日	7月10日	7月14日

※会津地域研究所(会津坂下町見明)のデータ

斑点米カメムシ類の発生状況

斑点米カメムシ類に加害されると、玄米にシミが生じ等級が低下します。喜多方地域では主に3種類のカメムシ類が斑点米の原因となっています。7/27にJAの実施したすくい取り調査によると、多くの地点で斑点米カメムシ類が確認され、すくい取り数の多い地点もありました。

また、県病害虫防除所が8/1に注意報を発表しており、今後も発生が多いと予想されています。

斑点米カメムシ類の防除

- 水田内にカメムシのエサとなる雑草（ヒエやホタルイ）が発生している場合、斑点米の発生も多くなりますので防除を徹底してください。
- 散布剤（粉剤・液剤）による防除適期は、乳熟期（出穂期の7～10日後）です。その後も発生が見られる場合は7日おきに追加防除を行いましょう。
- 割れ粳が多いとカメムシ類による吸汁を受けやすくなるので、割れ粳の発生しやすい品種（天のつぶ等）では乳熟期に加えて出穂20日後頃に追加防除しまししょう。
- 農薬の周辺への飛散を防ぐため、風の弱い朝方に散布するようにしましょう。また、農薬を散布することを事前に周辺住民に伝えておくトラブル防止になります。
- 出穂後の畦畔等の草刈りは、水田内にカメムシ類を追い込む危険性があるため、原則行わないようにしましょう。カメムシ類は収穫直前まで被害を与えることが分かっています。
- ミツバチが飼養されている地域で薬剤防除を行う場合は、養蜂業者との連携を密にし、危被害の未然防止に努めてください。

斑点米カメムシ類防除薬剤の例

薬剤名	使用時期	使用量	使用方法
スタークル粉剤DL	収穫7日前まで	3kg/10a	散布
		140～150L/10a (希釈倍数1,000倍)	散布
スタークル液剤10	収穫7日前まで	0.8L/10a (希釈倍率8倍)	無人航空機による散布
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで	3～4kg/10a	散布

水管理と適期刈り取り

(1) 出穂後の水管理

- ・出穂後は基本的に間断かん水を行い、徐々に田面を固めてください。
- ・出穂後 20 日の日平均気温が 27℃を超えると白未熟粒の発生が増加します。向こう 1 ヶ月の平均気温は「高くなる」と予想されているため、用水を十分確保でき、高温が続く場合は、昼間湛水・夜間落水（または、自然落水）することで、日中の地温上昇を防ぎ白未熟粒の発生を抑えます。なお、用水の状況を確認しながら行ってください。
- ・落水時期は、出穂後 30 日以降を目安とします。排水の悪い水田の場合は出穂後 25 日以降であれば落水しても問題ありません。落水が早いと粒が薄くなり玄米品質も低下します。

(2) 適期刈取

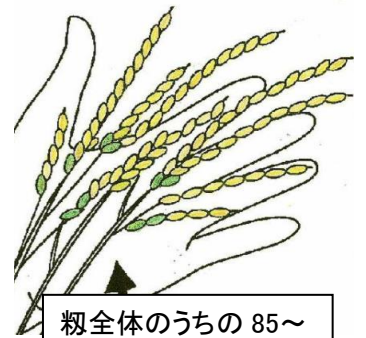
- ・出穂後の日平均積算気温を参考に、籾の黄化率で収穫適期を判断します。天のつぶは収穫期になっても穂軸に緑色が残る場合があるため、あくまで籾の黄化率を確認してください。

◇日平均積算気温の目安

ひとめぼれ950~1,000℃、天のつぶ1,000℃前後、
コシヒカリ1,000~1,050℃

※積算気温が1,200℃を超えると胴割粒の割合が高まります。

◇籾の黄化率 85~90%



籾全体のうちの 85~90%が黄化した時が刈取り適期です。

(3) 乾燥時の注意点

- ・乾燥温度は40~50℃程度、毎時乾減率は0.8%以下としましょう。急激な乾燥は胴割粒の発生を助長します。

(4) 飼料用米における収穫乾燥作業の留意点

- ・燃料代を節約するため、飼料用米の場合は、ほ場で籾水分を18%程度になるまで乾燥させる立毛乾燥を行いましょう。なお、主食用米へのコンタミを防止するため、飼料用米は最後に収穫するようにしましょう。飼料用米の後に主食用米を収穫する場合は、コンバインや乾燥機などの清掃を徹底してください。

(5) 米の放射性物質モニタリング検査

令和5年産米は旧市町村（昭和25年2月1日現在）毎に原則1点検査（令和4年までは3点）し、出荷・販売の可否を判断しますので、結果が判明するまでは無償譲渡も含めて出荷・販売しないようお願いします（集荷業者の倉庫への移動は可能です）。

なお、出荷・販売が可能となった地域については、県水田畑作課のホームページで確認できます。



水田畑作課HP

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、
相談はこちらへどうぞ
会津農林事務所喜多方農業普及所
TEL 0241-24-5745
JA会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課
TEL 0241-21-1801



過去の稲作情報はこちら